



京都市緑のボランティアセンターでは、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、緑に関する情報や取組みを御紹介します。

公園愛護協力会の御紹介

京都市が管理している公園では、近隣にお住まいの方々等で結成されているボランティア団体（公園愛護協力会）のみなさんに、公園の清掃や除草を中心とした美化活動を展開していただいています。今回は、上京区の二条公園愛護協力会の活動を御紹介します。

二条公園 一市街地に潤いを与え、緑をつなぐー

二条城の北側に広がる二条公園は、1934年に開催された「大礼記念京都大博覧会」会場内の児童遊園地が後に公園となったもので、2005年に再整備されました。平安京の逸話を伝える鶴池（ぬえいけ）から生まれたせせらぎが流れ、ヒマラヤスギなどの大木が立ち並ぶ、自然豊かで美しい公園です。ザイルクライミングやブランコなど遊具も充実しており、年齢を問わずたくさんの方に利用されています。



毎月第2・第4土曜日の9時から行われる作業には、会員以外にも、近隣のお店の方などが自主的に参加して下さるそうです。「若い方も参加して下さるのはとてもありがたいです。」と話すのは会長の山本眞弘さん。池の清掃を中心に、落ち葉清掃やごみ拾いを行われています。池の清掃では毎回水を抜き、落ち葉をかきあげブラシでこすります。藻の発生に苦労されているそうですが、会員の木下さんは「子どもに人気の場所なので何より気にかけています。」と話してくれました。

会員の皆さんは20年以上活動を続けられています。山本会長は「ほったらかしが嫌な性格で、見た目を気持ちよくしたいです。昔からお世話になっている公園なので愛着もあります。」と使命感を持って取り組まれています。木下さんは「運動をしに来ているんです。やらされているのではなく、やらせてもらっている気持ちです。作業中に『ごくろうさま』と声をかけていただくと、その一言でしんどい気持ちを忘れます。」と笑顔で話してくれました。

山本会長は「市と連携しながら美化活動を続け、若い方にも活動を知っていただき、次の世代に繋げていきたいです。新規会員も募集中で、空いている時間だけの参加でも大歓迎です。」と今後の活動についての思いを語ってくれました。